

○ 広陵元気号の利用促進について（案）

資料 10

若年層・無関心層をターゲットとした利用促進や交通シンポジウムで地域連携サポートプランを締結している国土交通省近畿運輸局からの提案内容を踏まえ、以下4点の取り組みの実施

標語の募集による 若年層への意識付け

各小学校へ昨年に引き続き夏休みの宿題として標語を募集し、選考する。

標語の選考について
（例）優秀者には、広陵元気号年間無料パスポートと記念品を提供する。

優秀な標語は、バスの乗り方教室の参加賞として配布するものさしに印字する。

イベント参加者への 動機付け

◎いのちを守るイベント
広陵元気号のPRを行うのと同時に、やまてつ100周年記念イベントのPRも行う。

昨年に引き続き広陵元気号検定を行い、正解者には乗車無料券とやまてつ100周年記念イベントの会場で利用できる金券（100円分）の引換券を配布し、利用促進を図る。

◎やまてつ100周年記念イベント
広陵元気号の増便をせず、当日広陵元気号での来場者に運転者から乗車証明を発行し、イベント会場で利用できる金券（200円分）と本部で交換をする。

夏休みの利用促進

夏休み期間は、外出機会が増えることから、移動手段として公共交通機関を選択されるよう、親子同伴（中学生以上 兄弟姉妹を含む。）利用で小人無料とし、利用促進を図る。

また、車内での移動時間が楽しい時間となるような仕掛け作り（例：各路線の車内で各路線別にクイズを用意し、各解答をつなげると文章になるなど）



お買い物ポイントカード 協賛店舗の拡充

お買い物ポイントカードを利用者が増え、各協賛店舗で粗品と交換をされる利用者も増えてきている。

今後もこの制度を継続して利用されるよう、協賛店舗の拡充を行い、より魅力ある制度にする。

魅力ある制度にすることにより、無関心層への利用促進を図るとともに協賛店舗も含めた町全体の活性化にもつながる。